

しらはまじょうやま  
**白浜城山** ウォーキング  
 マップ

戦国時代、安房国をおさめた房総里見氏。その初代・里見義実が安房に進出し、最初の拠点としたのが白浜城でした。その城跡として今にその歴史の名残をとどめているのが、白浜城山(じょうやま)です。城の名残をとどめる遺構が数多く残されています。

山頂付近の尾根づたいは標高100メートル前後で、小さなお子様からお年寄りまで歩いて登ることができます。

展望台からの眺望は、白浜一帯の露地花の畑や波砕ける岩礁、太平洋とさらにはるか沖に弧を描く水平線と、大パノラマが広がっています。房総半島最南端の絶景をみわたせる場所となっています。

遊歩道の周辺には、里見氏ゆかりの杖珠院、由緒ある下立松原神社、弘法伝説のある芋井戸、青木観音堂、めがね橋などの、史蹟や名所も点在しています。



第2展望台からの眺望



麓から見た城山全景



第2展望台から見た野島崎灯台

**展望台から見える島影**

晴れた日に白浜から見える伊豆七島の島々。その時の天候により見える島の数が変わってきます。島の名前を順番に覚えやすくなったのが「首に聞こえし神津島。三宅、御蔵は八丈に近い」。大島のオ、利島のト、新島のニ……。右から順番に房総半島に近い順に並んでいます。最南端にある八丈島を見ることができるのは、せいせい年に一度か二度なのだそうです。さて、八丈島まで見渡せるか。見えたらラッキー。

オト(ウ)ニキこえし神津島。三宅、御蔵は八丈に近い。

八丈島 (854m)	御蔵島 (851m)	三宅島 (775m)	神津島 (571m)	式根島 (109m)	新島 (432m)	鵜渡根島 (210m)	利島 (508m)	大島 (764m)
------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-------------	-----------	-----------

